

令和4年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 田坂恒輝・池田将冬・神原律子・越智多恵子・相原ゆかり・藤原亜矢・大内美知・藤原梨絵・矢野美佐加・國貞知子・松田友子・田中さゆり

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	0人	0人	12人

前回の改善計画	新規利用の利用者さんの細かな情報を把握し、職員間で共有して、適切に介護支援を行っていただけるように、関わりを多く持ちながら、本人の思いをくみ取っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者さんの情報は、出来るだけ早期に職員全員が共有できる様に情報シートとして回覧しています。初期のサービス調整についても随時SNS等を使用し、リアルタイムで職員に連絡し、対応出来るようにする事で、勤務が空いたスタッフでも、容易にケアに携われ、利用者さんの不安を軽減することが出来ています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2人	10人			12人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1人	11人			12人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2人	10人			12人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	10人			12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 新規利用者さんの情報を、情報シートに記入し、可能な限り、初回利用日までに回覧する事で、職員全員が基本情報を把握でき、事前の情報収集については共有する事が出来ています。急な変更がある場合はSNS等で情報共有も随時行いながら、利用者さんや家族が不安なく安心して利用できる様にしています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員一人一人が、一人の利用者さんを初期の段階で全てを把握する事は困難だと思われま。業務に追われゆっくり会話する事が出来なかったり、把握し理解するまでにどうしても時間を要してしまいます。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 初回利用時から、交流の機会を増やし、知り得た情報やケアの内容について、職員間で共有しながら、利用者・家族さんに安心してサービスが利用できる様に支援していく。記録物の簡素化や一日の流れの見直し、個々のサービス内容等も調整する事で、業務の効率化を図り、利用者さんと関わる時間を増やしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月26日(9:00~10:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 田坂恒輝・池田将冬・神原律子・越智多恵子・相原ゆかり・藤原聖矢・大内美知・藤原梨絵・矢野美佐加・國貞知子・松田友子・田中さゆり

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	2人	0人	12人

**前回の改善計画**  
訴えも無く、意思疎通の難しい利用者さんに対しても「～したい」の実現に向けて、日々の関わりの中から表情の変化にも注意しながら、思いをくみ取り、希望に沿った支援を提供できるように検討していく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
なかなか、一人一人の利用者さんの「～したい」が表現する事が難しい利用者さんに対して、家族と一緒に考えたり、今までの「私の暮らしシート」の中から一緒に読み取り、スタッフ全員で考えながら、出来るだけニーズに近づいたケアが提供できる様にしました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		8人	4人		12人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8人	4人		12人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8人	4人		12人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	10人	1人		12人

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
毎月のミーティングやモニタリングで、本人・家族に生活に対する希望やケアの内容に対する評価を行っている。また、日頃の関わりから気づいた事やサービス内容の変更も随時行いながら、本人・家族が望む生活に関する目標やニーズについて話し合い、来月のケア内容について検討しています。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
現在行っているサービスが果たして利用者・家族さんにとって、目標に沿っているのかどうか分からない事がある。日頃の業務に追われ、なかなか利用者さん一人一人にじっくり関わったり、現在のサービスの評価や今後のサービスやケア内容についての希望を具体的に確認する時間が少ない。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
利用者さん個々に係る事が出来る時間を確保する為、「1, 初期支援」と同様に、業務の効率化や、スタッフ一人一人の感性を生かして、担当利用者さんの「輝きシート」など、生活している中での強みや弱み、家族との関わりや、自宅での役割や習慣等も情報として職員間で共有しながら、統一したケアが出来る様にする。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	0人	12人

前回の改善計画	利用者さんとの日々の関わりの中での会話等から、以前の暮らし方や生活環境、日常生活の細かな情報を聞き取り、職員みんなで相談しながら本人に適した介護を提供できるように支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人に適した介護を決定する時点で、利用者さんや家族さんのニーズと職員の思いなどが異なる場面があったり、なかなか十分な情報があっても、統一したケアの提供が難しい状況もありました。出来るだけ本人のニーズを家族と相談しながら、ニーズ添ったサービスが提供できるようにしました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		6人	5人	1人	12人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4人	8人			12人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	9人	2人		12人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	9人			12人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3人	9人			12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初期の時点で「私の暮らしシート」を本人・家族に記入頂き、職員間で共有しながら、その人が望むサービス(ケア内容)を把握し、毎月のミーティングで具体的なケア内容についてモニタリングを行っている。急な生活状況や心身の状況の変化にも、迅速に対応できる様にしています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者さんの行動や言動そのものに意識が集中してしまい、本人の本当の気持ちや要望等について検討する機会が随時出来ていません。楽しみや過ごし方等の把握が出来ておらず、個人差を全体のサービスの流れとして対応している事があります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者さんもその日、その時で気持ちの変化や心身の変化があり、その状況に合わせたサービス・ケア内容の調整が必要になってくる。随時、生活の背景を考慮しながら、本人や家族に日常生活に対する希望や要望を確認しながら、その人が望む生活が継続できる様支援していく。	

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 田坂恒輝・池田将冬・神原律子・越智多恵子・相原ゆかり・藤原亜矢・大内美知・藤原梨絵・矢野美佐加・國貞知子・松田友子・田中さゆり

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	4人	12人

前回の改善計画	<p>継続して自宅でサービスを受ける前に行っていた地域行事やイベント等への参加や、一人ひとりの意向を確認しながら、本人が望む「地域」への参加が継続出来るよう、もう一度サービス利用前の地域との関わりについて再確認し、現在でも参加できそうな行事やイベントについては、出来るだけ参加できる様支援する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントや行事の中止が相次ぎ、なかかな地域へ出て行くこと自体が減っています。今年度、順次感染対策を行いながらのイベントの開催が増えてきています。事業所内でも感染対策を行いながら、バラ公園の散策や、島内ドライブ等で外出の機会を持ちながら、少しでも地域の一員として感じて頂けるよう対応しています。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	8人	3人		12人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	2人	7人	2人	1人	12人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		9人	3人		12人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	6人	3人	2人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>新型コロナウイルスと共存できる様、感染対策には十分気を付けながら、季節のイベントなども施設内で取り入れながら、少しでも季節感や行事を思い出して頂きながらの対応を行っています。地元の民生児童委員さんや近隣の方々との関わりも絶やさないうちにしています。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域のイベントが開催されても、十分な感染対策を行いながらの参加が十分に出来ていません。地域資源についても、サロンの中止や住み慣れた地域で定期的開催される行事なども中止が相次ぎ、なかなか参加する事が出来ていない状況が続いています。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>今後、感染対策を行いながらのイベントや行事が開催されるにあたり、より感染対策を徹底しながら参加し、地域で暮らす事の意義や大切さを実感して頂けるよう、対応していく。</p>	

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 田坂恒輝・池田将冬・神原律子・越智多恵子・相原ゆかり・藤原亜矢・大内美知・藤原梨絵・矢野美佐加・國貞知子・松田友子・田中さゆり

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	2人	0人	12人

**前回の改善計画**  
 訴えの少ない利用者さんについても出来る限り本人の気持ちをくみ取り、思いが反映された必要なサービスを提供できるように支援していく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 「通い」や「泊り」、「訪問」の利用中のサービス内容について、毎月モニタリングを行い、ミーティングでより日常生活の希望に沿ったサービスが提供できる様に検討していましたが、その時の本人・家族の満足度だけでなく、より細かい具体的なサービス内容について、スタッフみんなで検討しながら、小規模多機能ならではの多機能性を生かした柔軟なサービスが提供できる様にしています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3人	5人	4人		12人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5人	7人			12人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5人	7人			12人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4人	6人	2人		12人

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 毎月、利用者さん一人一人の担当制にして、ミーティングでサービス内容や心身の状況について随時検討し利用者さん・家族さんのニーズに沿った内容かどうか、現行のサービスに満足しているか、安心して生活出来ているかの確認を行いながら、サービスの調整ができています。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 つい、家族の負担を考え、本人が理解・納得してくれている場合は、事業所内で完結するようなサービス内容が多く地域資源活用は出来ていません。コロナ禍で地域資源の利用についても消極的になってしまっています。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 小規模多機能型居宅介護の多機能性を最大限に発揮し、利用者さん・家族さんが望む在宅生活を支えながら、本人が望む生活が継続出来る様に支援する。その為にも利用者さん本人を理解し、より良い関係作りを行いながら、利用に対する感想や気持ち等も確認しながら、柔軟なサービス提供が行えるようにする。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	5人	2人	11人

前回の改善計画	<p>コロナの状況をみながら引き続き気軽に事業所に来てもらえるように、地域合同避難訓練や夏祭り等のイベント時には、施設内を見学して頂いたり、支部便りやもっと地域の方へ事業所の紹介や役割を発信していくようにする。今後も、他サービス機関とも定期的に、また必要時には随時担当者会議を実施し、迅速に対応できるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>家族や住んでいる地域の民生児童委員さん、デイサービスやグループホームとも連携しながら、スムーズにサービス移行が出来たり、本人・家族が不安にならない様に対応しています。コロナ禍で、ほとんど施設見学や関係機関(福祉用具、訪問看護、訪問リハビリ、居宅療養管理指導等)以外の機関との関わりや、会への参加は出来ていません。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		2人	3人	6人	11人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2人	2人	7人	11人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1人	3人	1人	6人	11人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3人	2人	6人	11人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>関係機関とのサービス担当者会議や民生児童委員さんの協力を頂きながらの、サービス調整ができています。出来るだけ地域ケア会議や研修などを通じて、多職種との連携も出来るだけ行うようにしています。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>コロナ禍で、連携の機会をなかなか確保する事が出来ていません。地域合同の消火避難訓練や婦人会・老人クラブとの交流、施設見学や小中高生との異世代間交流などもここ3年程行えていません。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>コロナ禍で、なかなか見学や来訪に関して制限をさせて頂いてるが、今後、感染対策や、検査等の証明を確認しながら、今までの様に、出来るだけ事業所と地域の方々、家族や他事業所も含め、交流する機会を持ち、様々な視点からの意見を参考に、より良いサービスが提供できる様にする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月26日(9:00~10:30)

7. 運営

メンバー 田坂恒輝・池田将冬・神原律子・越智多恵子・相原ゆかり・藤原重矢・大内美知・藤原梨絵・矢野美佐加・國貞知子・松田友子・田中さゆり

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	5人	1人	12人

前回の改善計画  
 継続して誰でも気軽に訪れ、相談できる事業所であるように機会があれば外部に情報を発信し、外部評価結果なども有効に利用して、事業所を少しでも知って頂けるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 外部評価結果については、今まで通り、愛媛県地域密着型サービス協会や社協のホームページに掲載し、誰でも閲覧できる様にしています。また、毎年利用者・家族さんへアンケート調査を実施し、利用中のサービスについて確認させて頂いている。コロナ禍で来訪者の制限をさせて頂き、なかなか知って頂く事は出来ませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		8人	4人		12人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	9人	2人		12人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	7人	4人		12人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	4人	6人	1人	12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 意見や苦情窓口についてはケアマネ・管理者が担当し、迅速に対応するようにしています。何かあった時にはスタッフ全員で状況の確認、意見をまとめ解決に向け取り組んでいます。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 普段の勤務だけでは、事業所のあり方や職員としての意見を言う時間が無く、十分伝えられていません。またこの時期、地域の方々と関わっていく方法が分からない為、どのように交流していくと良いのかが分かりません。普段ケアマネが連絡調整を行う為、家族の方々と直接関わる事が出来ていません。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 毎年行っている利用者・家族のアンケート調査、地域合同消火避難訓練の実施やイベントへの参加、運営推進会議での意見や外部評価結果を参考に、指摘を受けた内容については迅速に対処し、より安定した事業運営が継続できる様にする。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年9月26日(9:00~10:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 田坂恒輝・池田将冬・神原律子・越智多恵子・相原ゆかり・藤原亜矢・大内美知・藤原梨絵・矢野美佐加・國貞知子・松田友子・田中さゆり

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	5人	5人	12人

**前回の改善計画**  
 継続して自己のスキルアップを図る為に、内部研修に参加したり、苦手とする部分や希望する内容の外部研修に年に1回は参加できるように段取りして、介護の質を向上していけるようにする。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 オンライン研修や、感染対策を行った上での研修には少しずつではありますが、開催も増え、参加する事が出来ています。また、研修の回数は少なく、スタッフが望むスキルアップのための研修も自由に参加する事が難しい事がりました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		2人	3人	7人	12人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1人	4人	7人	12人
③	地域連絡会に参加していますか		1人	3人	8人	12人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2人	6人	4人		12人

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ヒヤリハット・インシデント、事故報告だけでなく、簡単ハット(もしかすると大きな事故につながるかも知れないハットした内容)を気軽に記入できるようにし、スタッフみんなで共有し、未然に事故を予防出来る様にしています。オンライン研修や必要な事業所内部研修を感染予防対策を行いながら、参加実施しています。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 コロナの影響で、連絡会やスキルアップ研修等に参加できていません。事業所内部研修においても、感染症対策や身体拘束・虐待防止に関する毎年必須の研修以外はまだ実施できていません。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 徐々にではあるが、オンライン研修で対応したり、感染対策を徹底しての開催が増え、以前の様にスキルアップ研修にはスタッフ全員が、希望する研修に参加し、知識・技術ともに習得し、サービスの質が向上できる様にする。

事-⑧

事業計画・目標

実施日 令和元年7月20日(水) 9:00~10:00

9. 人権・プライバシー

メンバー 田坂恒輝・池田将冬・神原律子・越智多恵子・相原ゆかり・藤原亜矢・大内美知・藤原梨絵・矢野美佐加・國貞知子・松田友子・田中さゆり

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	2 人	6 人	3 人	12 人

前回の改善計画

成年後見制度についての研修へ参加し、制度の理解と、該当者がいる場合、的確なアドバイスが出来るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナ感染拡大等により、研修の開催が出来ず、個人情報保護、プライバシー、成年後見制度についての研修に参加できていません。身体拘束・虐待防止については、事業所内研修で、毎年実施しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7 人	4 人	1 人		12 人
②	虐待は行われていない	7 人	4 人	1 人		12 人
③	プライバシーが守られている	5 人	6 人	1 人		12 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5 人		5 人	2 人	12 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9 人	2 人	1 人		12 人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

2ヶ月に1回、運営推進会議の場を借り、「身体拘束等適正化のための対策検討委員会」を開催し、現状報告や対策について報告・検討しています。成年後見制度や福祉サービス利用援助事業に至っては、制度の内容が分からなくても、相談先を伝える事が出来ています。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

個人的になかなか理解が難しい。以前研修に参加した事があるが、理解できていなかったり、活用する事が無い為、忘れてしまう。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

コロナ禍でも、徐々に研修開催が増えてきている。必要な内部・外部研修へ参加し、研修内容をミーティング等でみんなに伝達し、定期的に制度について確認出来る様にする。また内容が分からなくても、相談窓口や相談先が伝える事が出来るようにする。

事-⑨

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会	代表者	会長 長野 和幸	法人・ 事業所 の特徴	瀬戸内海のほぼ中央に位置しています。海と山に囲まれた自然豊かな島の中にゆったりと佇む事業所は、古民家を移築したもので、木のぬくもりに溢れています。広々とした敷地の中には、グループホームやデイサービスセンター、近隣には保健センターもあり、福祉の拠点となっています。 多くの職員が開設当初から勤務しており、チームワークを大切に笑顔で利用者さん一人ひとりと向き合いながら、夢のある暮らしの実現に向けて、持っている力を発揮して頂けるよう支援させて頂いています。
事業所名	今治市社協 小規模多機能ゆいの村	管理者	田坂 恒輝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	5人	0人	0人	1人	4人	1人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、事前に地域かかわりシートを記入してもらいコロナウイルスが落ち着いていけば事業所の見学も行き、運営推進会議の時に外部評価がスムーズに行えるようにする。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一般の方も含め、事業所の見学や来訪は自粛頂いています。その為、実際に施設見学して頂く事が出来ませんが、希望者には、タブレットを使って、テレビ電話で施設内を見て頂きました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者側からすると、預かって頂くだけでありがたいのに、「～したい」の実現に向けて取り組んでもらっている様子が良く分かります。</li> <li>自己評価は難しいですが、月一回のミーティング、リーダーの元で協議できている事、大切ですね。良い方向にあります。</li> <li>評価の中で、「できない理由」点も確認され、スタッフの意識向上につながりますので、大切に取り組んで下さい。</li> <li>日々の業務大変ですが、スタッフの皆さん自身の健康管理が大切です。健康であって、他者の支援が出来ますので、お互いの声掛け(傾聴)もお願い致します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、自己評価表で出来ていないと判断した箇所を話し合い、計画的に見直しながら、職員個々でも自己評価の見直しが出来る様に、随時取り入れて行きたい。次回、外部評価までに自己評価の総合点が少しでもアップする様、取り組んでいこうと思います。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、運営推進委員さんへも、行事やイベントへの参加はもちろん、自由に来所頂いたり、運営推進会議の場を利用し、見学して頂く回数を増やすなどしながら、率直なご意見を確認し、改善につなげていく。</li> </ul>	<p>令和4年に入り新型コロナウイルス感染症も第7波を迎え、なかなか自由に施設内の見学をして頂く事が出来ませんでした。新規のご利用者さんや利用申し込みをされる利用者さんには、屋外から見て頂いたり、必要があればオンラインでの施設内の見学もできるようにしていこうと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で自由に行き来する事が出来ない状況です。色々工夫されているようで大変ですが、継続して頑張ってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、コロナ禍でも安心して施設内の見学(オンライン)や、分かりにくい所は丁寧に説明しながら、誰にでも開けた事業所として、出入りして頂けるように心がけたいと思います。</li> </ul>

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意 見	今回の改善計画
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、もっと地域の方が気軽に訪れる事ができ、交流や相談に来るなど、事業所が地域の交流の拠点や相談所になる事が出来るようにする。</li> </ul>	<p>今まで同様、利用申込や相談にいつでも応じられるように体制を整えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で諸行事が中止となり、地域との交流が出来ない事は非常に残念ですが、今迄の地域との関りを十分見させて頂いています。もう暫くは皆が我慢の時だと思えます。</li> <li>・地域(地元)の行事等をスタッフ皆さんが関心を持って頂ける事が、利用者の支援(幅広く)に繋がりますので、参加出来なくても、地域(地元)を知る事が大切かと思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域合同避難訓練や夏祭り、ふれあいフェスタ等の交流事業が減り、地域の方々に事業所とふれあって頂く機会が減っています。規制緩和に伴い、少しずつ地域へ発信できる方法(ネットやお便り等)を考え、実施していきたいと思えます。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、地域の行事やイベントだけでなく、利用者さん一人ひとりが今まで地域を担ってきた役割を改めて確認、理解し、在宅で今まで当然のようにできていたお墓参り、お祭りへの参加、サロン活動や近所の方々との交流等も継続できるようにする。</li> </ul>	<p>以前に比べ、たくさんの方が集まるような行事やイベントは中止となっている中、密を避け、地元の神社へ初詣に行ったり、季節の花や風景をドライブをしながら感じて頂いています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族でも、季節の花や風景を見に連れへは行けません。心温まる対応に頭が下がる思いです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でなかなか行事も中止となり、地域へ出て行く機会が減ってしまいました。徐々に緩和傾向にあり、感染予防は十分行いながら、今までの地域との関係性が続けられるようにしたいと思います。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の時に地域包括支援センターの方や保健師さんから、地域で困っている方等をピックアップしてもらい、どのように関わり支援していけばよいか検討していく。</li> </ul>	<p>グループホームの入所検討会議や、実際、受け持たれている地域の方々で、心配な方は、相談頂きながら、申し込みや緊急時等の対応をさせて頂いています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域アンケートで、3~4名の方が地域の心配な方の事例検討や取り組みを一緒に行っている事に対し、「いいえ」「分からない」との回答あり。実際なかなか地域の問題を会で話し合う機会が少ないと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、住んでいる地域の課題や困難事例、逆に成功事例なども踏まえて、確認出来る時間が確保出来ればと思います。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、地域の住民の方と一緒に消火避難訓練を行い、まずは災害時の対応マニュアルについて説明し、引き続き消火避難訓練に参加して頂く。他の自然災害時の訓練も随時実施しながら、同様に可能な限り参加頂き、一緒に対応について検討していく。</li> </ul>	<p>令和4年度は、毎年行っていた地域合同消火避難訓練の実施は見合わせました。グループホーム・小規模多機能ゆいの村の立地から、地震による津波対策訓練は毎年行っています。豪雨やライフラインが止まった時の対策等について、現在検討し、マニュアル作りを行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域アンケートで回答頂いた過半数の方が、防災訓練に参加したことが無いと回答されている。どうしてもコロナ禍で参加が難しいと思われる為、もう少し制限が緩和された時には、是非参加頂けるよう計画して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ3年間、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、地域合同の避難訓練が実施する事が出来ていません。徐々に感染予防の対応も緩和されつつあり、来年度は、感染予防を徹底しながら、合同での避難訓練が実施できればと思います。</li> </ul>